

高松市立太田小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

10年後を見通し、社会に参画する太田っ子の育成
～支え合うやさしい子 よく考え表す子 健康で粘り強い子～

【本校の課題】

- 男女とも上体起こし、長座体前屈は優れている。
- 握力、立ち幅跳びが県・全国平均と比較して大きく劣っている。瞬発的な筋力を発揮することを苦手としている。
- 外遊びをする児童が固定化されている。

【現状】

高学年は委員会活動などの仕事で時間がとりにくい実態があるが、業間や昼休み等には元気よく運動場や遊具で遊んでいる児童も見られる。また、ドッジビーなど当たっても痛くない道具を取り入れ、多くの子どもたちが外遊びを楽しむようにはなっている。遊具では、低学年の児童が主に遊んでいる姿が見られる。

【取組み】

太田リンピックの実施

運動について児童の意欲・関心を高めることを目標に、体力づくりカードを作成し実施する。内容は10種目、1つにつき10項目で合計100種類の運動とする。

内容は学校にある遊具や用具を使って、自分でできるもの、体育の時間に取り入れられる補助運動のものとする。達成した数により金・銀・銅メダルの賞状を渡し、称賛する。

運動委員会が行い方の説明や計測の補助をするなどし、子どもたちだけでも取り組みやすくする。

体育館開放（自由遊び・イベント実施）

行事などで体育館を使用しないときは、1学年ごとに担任管理のもと、安全に配慮し、開放する。

また、委員会が昼休みにイベントを企画し、運動の機会を増やしていく。目標をクリアした児童に賞状を配布し、意欲的な態度を育てていく。



クラスマッチ種目の実施

3年生以上で行う。各学年の実態に合わせて行うことにより、仲間づくりに有効であることを知らせる。

結果のみにこだわるのではなく、スポーツマンシップを大切にすることも学べるようにする。



【今年度の目標】

- 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。
- 合格証や賞状をその都度配布し、認めることで、自己有用感を高めるとともに、目標に向かって頑張ろうとする態度を育成する。
- 体育の授業が「好き」と答える児童の割合を令和5年度中に80%以上にする。
(新体力テストや児童の様子を観察することで今年度の取り組みを評価していく)